

プログラムの特長

自社の未来を描く 「事業変革構想」の策定

シナリオプランニングとバックキャスト思考を用いて、自社業界の「見たい未来」と「見たくない未来」を描き分け、業界(戦うフィールド)の再定義に挑戦。ビジネスモデルキャンバスを活用し、既存事業から未来事業への“ジャンプ”を伴う強固なビジネスモデルを設計します。

実務家教員による 実践的な学び

経営戦略や人材育成、組織づくりを体系的に学ぶカリキュラム。経験豊富な実務家教員が、実例や対話を通じて実践知を伝えます。

対話と共創による 学びのネットワーク

経営者同士のピアレビュー(相互評価)に加え、学生との対話セッションを通じて、将来の担い手世代から自社ビジョンへの率直なフィードバックを獲得。社内だけでは得られない第三者視点から、経営者としての視座を磨きます。

受講生の声

大学ならではの、突き詰めて考えるというプロセスが、他のプログラムとは違って有意義でした。

長野市／製造・卸売業・サービス業

新しい取り組みに対して起こすべき具体的なアクションの立案や企画について勉強できたこと、また、それを顔の見える人数のメンバーと一緒に切磋琢磨出来たことが、とても刺激になりました。

松本市／製造業

受講者満足度 ★★★★★ 4.87 / 5.0 (2024年度) 4.63 / 5.0 (2025年度)

> 88%の経営者が他の経営者にも薦めたいと回答！

受講申込要領

詳細は募集要項(別紙)をご確認ください

受講のための 資格・要件

- 経営者又は経営幹部
- 大学卒業または、本プログラムにおいて、個別の受講資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方

申込受付期間 2026.7.13(月) ～ 8.23(日)

出願書類

講座販売サイト<SHIN-LEARN>の「コース詳細」より、募集要項・出願書類(様式)をダウンロード
<https://www.shin-learn.shinshu-u.ac.jp/>



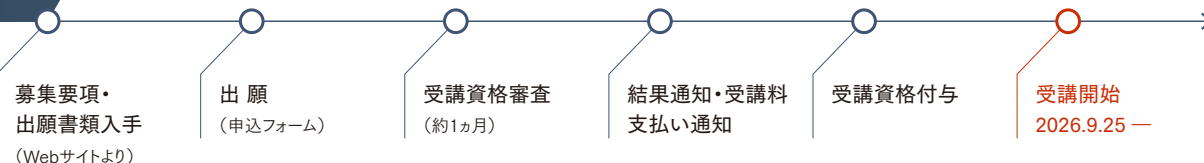
お申込みはこちら

出願方法

- ①SHIN-LEARNにて会員登録後、講座をご購入
- ②事前にご準備いただいた出願書類をアップロード

※出願書類の内容を総合的に検討し、受講者を決定します。なお、応募者多数の場合は、本プログラムの趣旨に鑑み、出願書類の内容を総合して受講者を選考します。

受講までの流れ



お問い合わせ

国立大学法人 信州大学
教育・学生支援機構 リカレント学習プログラム推進本部

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

0263-37-2428 <https://www.shinshu-u.ac.jp/education/recurrent/>



特別の課程
履修証明プログラム

未来を描き、 人を育て、 組織を動かす。

創業の想いと未来のシナリオをつなぐ、
中小企業のための
“両利きの事業変革プログラム”

経営者向け

Business Transformation Strategy Development Program for Executives

「事業変革構想」策定プログラム

— 未来ビジョンと人材戦略を設計する実践的な学び —

対象

“次の成長”に向けて、事業の可能性を広げたい
経営者・後継者・経営幹部の方

- ✓ 経営戦略と人材戦略を統合的に学び、実行に移したい
- ✓ 事業を次のステージへ進めるために「構想力」と「巻き込む力」を高めたい
- ✓ 「今の延長線」ではない、新しい成長のかたちを描きたい
- ✓ 自らの手で“人を育てる仕組み”を築き、次世代を託せるチームをつくりたい

定員

10名

受講料

330,000円(税込)

開講期間

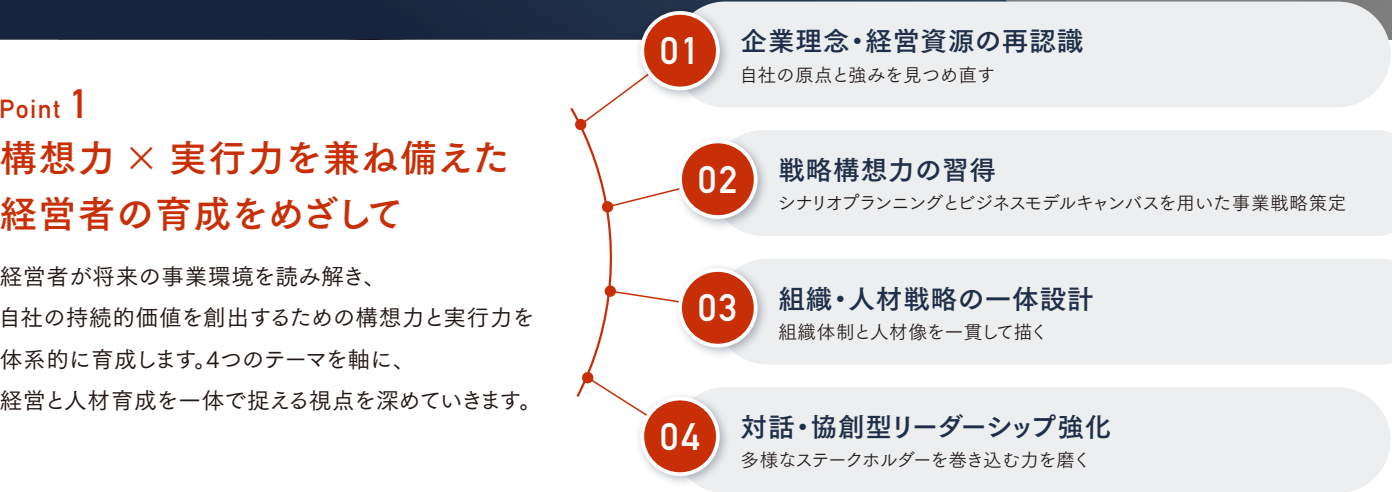
2026.9.25 Fri → 2027.2.21 Sun

変化を読み、組織を導く “変革のリーダー”を育成

変化の激しいVUCA時代、企業の持続可能性を左右するのは、
経営者自身の構想力と組織を動かすリーダーシップです。

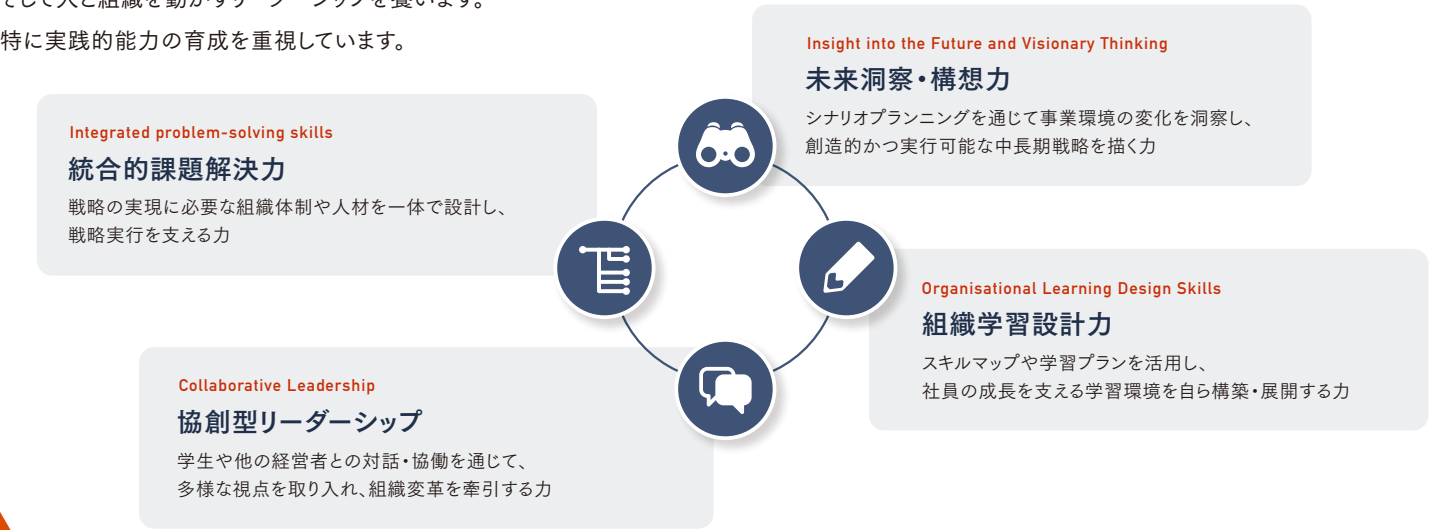
本プログラムでは、中小企業の経営者・幹部が、自社の原点と価値を見つめ直しながら、
既存の延長線上ではない「新たな未来ビジョン」を描き、それを実現するための組織と人材戦略を一体で設計します。
経営者自身の内省から始まり、10年先を見据えた具体的な変革の設計図を完成させる、実践的プログラムです。

次の10年を見据え、変革に挑む。
今こそ、経営の原点と未来をつなぐ学びを、信州大学から。



Point 2 未来を創り、変化を動かす力を体系的に習得

経営環境の変化を洞察し、企業の未来を構想する力、戦略と人材育成を統合的に設計・実行する力、
そして人と組織を動かすリーダーシップを養います。
特に実践的能力の育成を重視しています。



戦略的思考力・組織学習設計力・人材育成推進力を兼ね備え、
自社の変革をリードするとともに、地域経済の持続的発展に貢献する中核人材としての成長を目指します。

カリキュラム Curriculum

対面とオンラインを組み合わせた、全12回、総時間数60時間のハイブリッド型カリキュラムです。  対面  オンライン

	開講日	時 間	方 法	テーマ	内 容
1	9月25日 金	13:00 - 18:00	対面	経営者の視座を高める	企業の持続的成長に必要な視座を学び、自社の変革の必要性と経営者自身の覚悟を見つめ直す。自己の原点回帰を通じて、企業変革と自身の人生のゴールを重ね合わせる。
2	10月 7日 水	13:00 - 17:00	オンライン	両利きの経営とイノベーションのジレンマを学ぶ	既存事業の「深化」と新規事業の「探索」を同時に推進する両利きの経営手法を学ぶ。ケーススタディを通じてイノベーションのジレンマを体感し、企業変革のマインドセットと探索を推進する組織の在り方を理解する。
3	10月21日 水	13:00 - 17:00	オンライン	シナリオプランニングを学ぶ	VUCA時代に対応する思考法として、業界の未来シナリオを複数構築。未来から現在を逆算する“バックキャストिंग”思考を習得し、事業領域の再定義を試みる。
4	11月 4日 水	13:00 - 17:00	オンライン	自社の未来(ビジョン)を描く	企業の存在意義やミッション・パーパスを再確認し、自社のDNAを言語化。未来シナリオと照らし合わせ、自社が目指すべきビジョンを明文化する。
5	11月14日 土	13:00 - 18:00	対面	学生向け経営者プレゼンテーション	描いたビジョンを学生にプレゼンし、フィードバックを収集。第三者視点を通じて構想を客観視し、伝わるビジョンへとブラッシュアップする。
6	12月 2日 水	13:00 - 18:00	対面	事業変革構想書を描く	ケースを用いて事業構想書のフレームを習得し、未来志向の事業計画を描く。ビジネスモデルキャンパスを活用し、強固なビジネス構造の設計を試みる。
7	12月 9日 水	13:00 - 17:00	オンライン	自社の事業変革能力を分析する	イノベーション人材の特性を学び、自社の変革行動を評価・分析。組織全体のコンピテンシー診断を通じて、変革のボトルネックを可視化する。
8	12月16日 水	13:00 - 18:00	対面	自社に不足する知・スキルを整理する	求める変革人材像を定義し、自社内の人材とのギャップを把握。不足する能力を補う学習計画を構築し、人的資本の強化に向けた道筋を描く。
9	1月13日 水	13:00 - 17:00	オンライン	組織力強化プランを作成する	組織マネジメントの視点から、自社の組織力を多面的に評価。変革を支える組織構造・制度・文化の設計を通じ、強い組織づくりの戦略を立てる。
10	1月26日 火	13:00 - 18:00	対面	従業員のスキルマップを作成する	事業構想に必要なスキルを明確化し、理想の人材像を言語化。ロールプレイによる採用模擬面談を通じて、経営者としての採用観点を鍛える。
11	2月 9日 火	13:00 - 18:00	対面	従業員のリカレント学習プランを作成する	社員一人ひとりに必要なスキルを明確化し、個別育成計画を策定。あわせて、想いを伝えるスピーチ理論を学び、最終発表の準備を進める。
12	2月21日 日	13:00 - 17:00	対面	事業変革構想発表(成果報告会)	構想書とスピーチをもとに、ステークホルダーや従業員へのプレゼンを実施。想いと計画の両輪で、共感と納得を得る“本気のプレゼン”で締めくくる。
	3月10日 水	10:00 - (予定)	対面	修了式(履修証明書授与)	履修証明書授与式を行う。

〔 修了要件 〕 各回の学習活動への取り組み(30%)と課題提出状況(70%)を総合的に評価します。「各回の学習活動への取り組み」は、毎回の講義における個人作業・グループディスカッションへの取り組み姿勢、各回課題への取り組みおよびリフレクションを指します。「課題提出状況」は、提出の有無に加え、理解に基づく課題の内容・達成度を勘案し、評価します。

〔 履修証明書・オープンバッジ 〕 プログラムの修了者にはオープンバッジ(デジタル証明)を授与します。

講 師 Lecturer



山本 美樹夫
信州大学 特任教授



末富 雅之
信州大学 特任教授

富士ゼロックス(株)総合研究所にて研究員として約13年勤務後、A.T.カーニーで経営コンサルタントとして活躍。テクノロジーベンチャーの育成を行うインキュベーターを起業し、5社を支援。その後A.T.カーニーに復帰し、主にハイテク・自動車産業の経営支援に約16年従事。2001年からはNPO法人ISLにて経営者育成ゼミを17年間担当。2018年より至善館教授・信州大学特任教授に就任。信州大学、金沢大学、富山大学にて企業変革支援プログラムを開発・展開し、リカレント教育を通じた経営課題の解決に取り組む。

(株)リクルートにて、企業と人材とのマッチング支援事業に長年従事。企業の課題解決のための人材課題整理や人材要件定義、キャリアコンサルタントとして個人向けキャリア形成支援に携わる。現在は、「信州100年企業創出プログラム」での人材マッチングや、地方中小企業の人材採用・育成支援にも従事。

修了時に完成する
“変革の設計図”(一例)

・事業変革構想書
・自社業界のシナリオプランニング
・自社の未来ビジョン
(ミッション・パーパスと連動)
・自社のコンピテンシー評価・育成プラン
・組織力強化プラン
・変革人材育成スキルマップ ほか

……………

これらは、自社での実行に活用できる
「生きた資料」となります。